

小学生～40歳くらい対象 不登校・ひきこもり・学校中退などの状態にある若者
または学校や社会人生活に生きにくさを感じている方への総合サポート活動



特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター
個別指導学習サポート・居場所運営・フリースクール・家庭(教師)派遣

2020年6月号 No.23

TOP Column

「運営方針 2020年5月25日現在」

いつも当所の活動にご理解・ご賛同をいただきましてありがとうございます。

今般の新型コロナ感染拡大による国の緊急事態宣言並びに京都府からの休業協力要請によりフリースクールは学習塾カテゴリという認識を府からいただいたので協力として2020年4月18日から5月10日までお休みをさせていただきました。

しかし、当所の運営の体力からも現在通われている方の特性要素からも運営再開の必要性を考え、5月12日より(個別教育予備校MESは5月11日より)再開して運営しております。

休業要請協力下であっても当所は100㎡未満の床面積であることから適切な対策を講じての運営が可能であります。

この機関紙発行段階で緊急事態宣言が京都府は解除されました。

しかし、今後も感染リスクは常にありますので当所の利用方法などを利用者には5月中にお渡ししていきたいと思っております。

希望者にはメールなどでも利用方法をお渡しますでお申し出ください。

またイベントに関しては方針が決まっておらず現段階では白紙であります。リスクの少ないものから実施方向を考えております。決まり次第HP／ブログ／各種SNSにて告知いたします。ネット環境がある方は随時上記案内を確認するようにしていただきたいと思っております。

京都教育サポートセンター HP
<https://ksce.jpn.org/>

個別教育予備校 MESHP
<https://mes.topaz.ne.jp/>

ブログ
https://ksce.jpn.org/page_id=1234

フェイスブックページ
京都教育サポートセンター
<https://www.facebook.com/ksce.apollo/>

フェイスブックページ 個別教育予備校 MES
<https://www.facebook.com/meskatsu/>

Twitter KSCEleader

LINE等は代表SNSのタイムラインになります。

イベント紹介・報告

2020年3月のイベント報告

新型コロナ感染拡大により4月以降は京都教育サポートセンターのイベント実施も見合わせながら、活動の見直しと対策を実施しております。

3月までは清掃や換気などの対策を講じながらなんとか運営年度末までのイベントは実施いたしました。内容・感想等は省略いたします。

イベント・レク日・休日居場所実施の記録

- 3月13日パレット河原町清掃活動参加
- 3月14日年度末パーティ
- 3月15日出かけよう 滋賀農業公園ブルーメの丘
- 3月17日ブレイン体操教室
- 3月20日レク日
- 3月21日レク日
- 3月21日(歩)ミーティング
- 3月22日岡崎フリマ中止により日曜居場所
- 3月26日出かけよう 奈良散策
- 3月27日ものづくりかふえ
- 3月28日年度末食事会
- 3月29日日曜居場所



ボランティアスタッフ募集中



募集は随時行っております。
ただし、活動に関しては新型コロナ感染対策の中で
少しずつご参加いただく方向を目指しています。
まずは、見学・詳細説明のお申し込みをお願いいたします。

075-211-0750
QRコードはK S C Eホームページです。

お知らせ

◎「歩（あゆむ）プロジェクト」は定期的なサークル的活動と社会活動・レクリエーションイベントなど行いながら人と関わる・心のエネルギーをためるためのフリースクール活動です。様々なことを実施しています。よかったらまずは見学にお越しくださいね。歩プロジェクトは当所の利用生の有無を問わずどなたでも参加可能です。KSCEのルールはお互いの尊重です。

◎ 面談相談・電話相談・LINE相談・メール相談 受け付けています。

当所事業所長南山が対応いたします、各種相談は随時受け付けています。生活相談・心理面相談・進路相談・学習相談など対応いたします。本人だけでなく、保護者等支援者のサポートも行っています。抱え込まずに良かったらお気軽にお申し出ください。メール相談はPCメール（状況により所長携帯）での対応LINE相談は申込者に専用LINE IDをお知らせいたします。（メール・LINE相談は内部生・利用生は除く）



電話相談 要予約
面談相談 要予約
メール・LINE相談

料金はお問い合わせください。
電話：075-211-0750
mail：syomu@ksce.jp.org



ものづくりかふえ・健康体操教室以外のイベントは原則前運営日18時が申し込み締め切りです。
※ 6月中止7月以降は未定です
また2人以上の参加申込がない場合は実施しません。
(参加申込が2人以上あったが、当日キャンセルが出て減った場合は原則実施します)
実施確定となった場合は、一部のイベントは当日参加も可能とします。

活動の告知は機関紙・事務所掲示以外に ブログ
http://ksce.jp.org/?page_id=1234/
フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo/>
twitter ID = KSCEleader
代表 SNS (LINE・twitter・facebook 他) 問合せください。

レクリエーション日について
※ 6月中止7月以降は未定です
通常のフリースペースと違い、TVゲーム・カルム・麻雀などの他者への影響が出そうなものもできる日です。またこの日はどなたでも参加可能です。
KSCE 内部生・MES 生無料
利用生 1,000 円
ALKnet 利用者 500 円
その他 1,500 円
実施日は4ページカレンダー参照。

ご意見・ご要望・ご感想は 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター まで
〒604-8005 京都市中京区恵比須町439早川ビル6階 HP：<http://ksce.jp.org/>
電話 075-211-0750 FAX 075-211-0750 mail：syomu@ksce.jp.org

2020年6月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------|----------|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| お休み 7 | FS 休み 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| お休み 14 | FS 休み 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| お休み 21 | FS 休み 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| お休み 28 | FS 休み 29 | 30 | | | | |

カレンダー中の表記について

「KSCE」京都教育サポートセンター
「MES」個別教育予備校 MES
「お休み」KSCE・MES 共休業です
「歩」歩プロジェクト活動
「FS 休み」居場所利用がお休み(学習・家庭教師などは実施しています)

(歩)と書かれたものは原則どなたでも参加可能です。(参加費等が異なります。)

連携団体 (ARU、LPW) さんのイベントも参加可能です。時間など詳細は ARU さん、LPW さんに直接でも当所に問い合わせられても可能です。

参加者区分

内-内部生 利-利用生

A-ARU 関係者 L-LPW 関係者

M-MES 生 他-その他

参加費用は内利 M は後請求

AL 他は当日

当所利用ルール (抜粋・詳細はお申し出いただきメールまたは直接プリントでお渡しいたします)

※当所利用者の中には持病等がある方もおられます。自分がかかっても大丈夫という感覚は捨て、かかってたら人に移すことの確率を下げることをお願いいたします。

○居場所運営は火曜日から土曜日の12時から18時です。

○入室時の手洗いを義務化します

○発熱がある方は制限いたします。帰宅していただき、解熱されるまでの利用をご遠慮いただきます。

○トランプ等ゲームをするときはマスクを着用

○距離の短い対面での会話もマスクを着用方向でご協力ください。(アクリル板を使用できるときはそれも可能)

○ゲーム後の手洗いをお願いします。

○大声注意・特にゲーム時です。注意してもなかなか対応できない場合はゲームを終了します。

○17時30分以後の入室ができません。(一旦外出による再入室は大丈夫です)

○17時30分で利用者がいないときはそこで閉所します。

○17時45分でゲーム等は終了し片付けて18時で終了します。

○面談は前運営日18時までの予約のみ行います。当日申し込みは原則受け付けません。

○スタッフは原則責任者スタッフと学習サポート担当スタッフのみとします。

○ボランティアスタッフは火曜日と土曜日のみで希望した方のみ参加予定です。ただし、多い場合は人数調整を行います。

○当面は「人と関わる場」という方

向性でなく「自宅以外にゆっくりと過ごす場所」という認識をお願いいたします。

※当所の方針にご協力しようという意識の見られない方は指導または利用制限をさせていただきます。

(重要)あくまでこれは当所がそういう意識ができていないと感じる言動の方、です。自己完結で思っているあまりにできていなく、こちらに伝わらないのはだめです。

対人も含めてこのようなことは「相手側がどう感じたかどう思ったか」が大事な要素です。

意識はあって思わず大声を出したとかマスクをし忘れた、はそれだけで×ではなく根本的に意識としてしようとしているとこちらが判断できる場合は大丈夫です。